



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



5年生、自然学校、終わる！「見通す力」、その先へ・・・！ - Change (変革) ,Challenge (挑戦) ,Continue (継続) -

令和3年度自然学校を無事に終えることができました。誰一人、取り残さず、5年生のみんなで自然学校を乗り切ったということは大変嬉しいことです。この喜びを、まずは、中番小学校で分かち合いたいと思います。

出発式の時、今年自然学校の見方を変えれば、捉え方を変えれば、「誰も経験したことのない自然学校」であると、子供達に話をしました。そして、この自然学校の3つのキーワードを示しました。それは「自立・協働・変革」です。子供達には、是非、この自然学校でこの言葉の意味を考え、行動して欲しいと思っていました。初日の朝来山登山、香りを聴くアクティビティ、キャンプファイヤー。2日目の隠れ家作り、星空観察。3日目の火起こし野外炊事等。多くのプログラムを体験しました。また、日々の宿泊棟での生活、3度の食事、入浴、朝の集いや夜の集い等、生活面ではある種の規制・制約がかかった中、共同生活を送りました。自然学校は、通常、あまり経験したことがない比較的長い期間、そのような生活を送ります。その中で、時刻や時間の遵守の大切さ、日程を把握し、行動する力、仲間と協力し助け合う力等を磨いていきます。今回は、活動班のメンバーが毎日変わるということがありました。それは、「仲間を再発見する」ということが大きなねらいの一つだったからです。様々な活動を通して、友達の今までとは違ったところを見つけ出す、探し出すといったイメージでしょうか。普段、接している友達からは見えなかった意外な一面を日々の生活場面で発見しようという試みです。それこそ自然学校では、長い期間「寝食を共にする」のですから、仲間の意外な面が見えやすい状況にあるかもしれません。子供達のある意味、素顔が、素の姿が見えやすくなるか

もしれません。このような枠組みの中、二泊三日を過ごしました。子供達はどのプログラムも一生懸命に取り組んでいました。始めは、プログラムの把握、時刻と時間が守れない等の場面も見られました。どう動けばいいのか、どう対応すればいいのか、戸惑う姿が見られました。リーダーさんの助言や指導等を受け、聞きながら、徐々に軌道に乗っていくそんな感じがしました。やはり、**何事も経験・体験**ですね。その積み重ねの中、各自のしおりには、この自然学校で見つけた友達のいいところ、よさ、意外な一面等が刻まれていきました。帰校式では、5年生の子供達に期待することとして、この自然学校で手に入れた3つのこと①**自分で考え、判断し、行動すること。**②**仲間との協働、ともに生きるということ。**③**そして、自分を変えること。**つまり、「自立・協働・変革」の日々の実践を求めました。そして、この自然学校を通して、みんなは「見通す力」を培ってきたことを伝えました。プログラムを見通す、今日の一見通す、この3日間の自然学校を見通す等、これからするべきことを理解し、それに向けて行動する力としての「見通す力」の大切さについて話をしました。そして、今から5年生が見通す先はどこか、考えてもらいました。保護者の皆様はどこと思われますか。5年生が見通すべき先、それは、この**中番小学校の最高学年となる来年の春**だと伝えました。自分をさらに向上させる為に、さらなる高みを目指しましょうと話しました。5年生の子供達は、この3日間で、自分を大きく、飛躍、成長させて帰ってきました。一つの山を、断崖絶壁を超えたということです。この自然学校を通して、きっと、自分の中に今まで見たことのない、新たな景色が見えたはずで、自分の可能性を信じ、仲間を信じて、新たな一歩を踏み出して欲しいと願っています。

新型コロナウイルス感染症では、新たな変異株オミクロン株の感染、流行が懸念され、心配な状況です。今後も感染症の対策の徹底を継続していきます。保護者の皆様には、引き続き、感染症対策についてご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。